

地質ニュース

昭和 61 年 1 月

第 377 号

1 9 8 6

年頭所感	垣 見 俊 弘	6
1990年代の資源に関する日米合同セミナー講演集	藤 井 紀 之 寺 岡 易 司	7
日本の地熱資源の評価	小 川 克 郎	8
広域的な鉱物資源評価について —その現在と将来—	D. A. Singer	18
世界のエネルギー資源と資源評価の方法について	C. D. Masters	26
資源問題と宇宙技術	石 井 吉 徳	36
地質調査所の国際活動の概要 (昭和59年度)	田 口 雄 作 藤 井 紀 之 桑 原 舜 三 斎 藤 友 三 郎	46
海外室だより	海 外 室	56
羽後浜田 UGO HAMADA	大 沢 禮 鯨 岡 明 葉 田 泰 夫	60

口 絵 世界の資源

古宇田亮一・田村 秀行・徳田 政克
石原 舜三・桑形 久夫

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

噴煙たなびく桜島：TM 画像

古宇田亮一（鉱床部）・田村秀行（電線研）

地球観測衛星ランドサットの最新型は昭和59年3月に打上げられて以来順調に地球表面の画像を送信し続けている。この最新型・5号には従来型のセンサー MSS の他に より高性能の TM が搭載されている。TM センサは 30 m より大きい地表物体を見分けることができる（従来は 80m まで）。また新たに赤外領域の人間の眼ではもはや見えない貴重な地質情報も送ってくれる。写真は 科学技術振興調整費「リモートセンシング技術の利用実証に関する研究」で作成した昭和59年10月22日の桜島火山の TM 画像である。ディジタル処理によって地質形状を鮮鋭化し且つ色の割付けに疑似カラー化という手法を用いている。中心の火口から下方へたなびくものが噴煙である。ここでは 赤外領域波長 (1.57~1.78 μm) に対する可視域波長の比を 青(0.53~0.61)緑(0.62~0.69)赤(0.78~0.90 μm) にとっている。大きな地形差が減少し微妙な地質差があらわれている。特に熔岩の時代差などは明瞭であろう。

2月号予定目次

X線を絞る ?

タマガイ類(巻貝)の蓋化石の産状について考える

アラスカ州の地球化学アトラスについて
地震予知観測の基礎的問題に関するノート

恒藤規隆と肥料鉱物調査所

東南アフリカ事情 ⑤